



## 鍋奉行でふ要職を与へらる

高橋きのこ

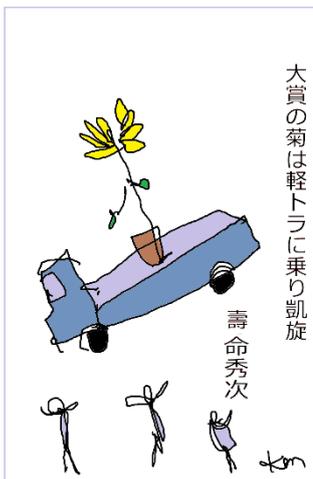
「要職」が可笑しいね。長年勤務した会社で万年平社員だったら感激かな。滑稽は、題材となった当人が気付いていないところにある。



## 土手鍋の味噌決壊の手前にて

工藤泰子

ははん。「手前みそ」と洒落たところが憎いね。味噌鍋の土手が決壊という情景を詠んだところが味噌。言葉遊びの巧なベテランの作品である。



## 大賞の菊は軽トラに乗り凱旋

壽命秀次

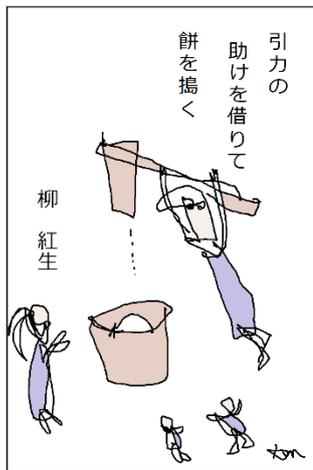
大賞という名誉の凱旋に「軽トラ」が可笑しい。軽トラだからと言って大賞の値打ちは下がるまい。昔だったらリヤカーでというところ。



## 咳の人以外全員息止めて

久松久子

極めて映像的な秀句である。これがエレベーターであることは想像に難くない。しばしば体験するから共感を得やすい情景。



## 引力の助けを借りて餅を搗く

柳 紅生

長いこと人間をやった人らしい知恵である。餅つきは杵の重さだけで搗く。無理矢理に杵を叩きつけるのは未熟な人である。



## だれも顔見たこともなし冬將軍

高田敏男

純白の軍服で白い髭を生やしているという感じだけど、あくまでも想像。ケンタッキーフライドチキンの店頭にいる方に近いイメージ。